

## 平成20年度 学部入学式 - 告辞 -

新入生の皆さんへ

新入生の皆さん入学おめでとう。御両親や御親族の方々にもお喜びを申し上げます。皆さんは今日より琉球大学の学生です。琉球大学については既に色々な知識を持っていることと思いますが、あらためて簡単に紹介します。琉球大学は七つの学部より構成される総合大学ですが観光産業科学部は今年の4月1日に開設されたばかりの新しい学部です。琉球大学の特色を申しますと、日本にある他の国立大学法人の大学と全く異なる設立の経緯と理念を持っています。琉球大学は沖縄が米国の統治下にあった1950年に沖縄戦で灰燼に期した首里城跡地に開学しました。設立には沖縄県民やハワイ在住の県出身者達の希望と高等教育の必要性に対する強い思いがありました。そこで米国のLand grant universityの一つであるミシガン州立大学の指導と理念のもとに地域に貢献し地域とともに発展する大学として出発いたしました。沖縄の固有の歴史や文化を受け継ぎ、さらに学術的成果を地域に還元するというミシガン州立大学にみられる米国のLand grant universityの伝統を合わせ持った大学でした。幾多の変遷のち今日、現在の地に国立大学法人琉球大学として県内でただ一つの総合大学となっています。沖縄戦で数多くの尊い人命、歴史遺産や美しい自然をはじめ多くのものが失われ、現在も米軍基地が広い面積を占めているということから大学の理念には、平和そして自由・平等・寛容がうたわれています。平成16年、日本の全ての国立大学は国立大学法人となり個性化と特色ある大学作りが競われ、先進国の理屈で多様な発展を目指しています。しかしながら地球の温暖化や環境破壊は広がり生物の多様性は失われ、自然災害も増えています。台風も強大なものが多くなっています。低開発国と先進国間の格差の広がりだけでなく先進国内部での格差の広がりも深刻な問題となっています。先進国の理屈だけではこれらの多くの問題の解決は困難になっていると考えられます。琉球大学では、それらの現在の多様な問題を解決するために南の柔らかなそして豊かな学識が必要だと考えアジアや太平洋地域に広がる沖縄の学問を発展させつつあります。COEに採択されている生物多様性の研究、アジア、ハワイ及び米国本土にまたがる人の移動の研究、防災研究、さらに生活習慣病や感染症研究などすぐれた多くの分野の研究を行いそれらを基礎とした教育が行われています。防災研究については今年の4月に研究センターが発足しました。大学のはたす役割を世界の大学の歴史から振り返って考えてみますと、大学は常に政治や教会などの権力と一線を画し、時には反対し、新しい学問を発展させ若者が活躍できる未来を作ることに向けて努力してきました。17～18世紀のヨーロッパなどでは実社会の政治や社会的活動からは距離をおいた純粋な学問の隆盛がみられたりもしています。しかし現代においては社会と密接な関係を持ち大学は社会と共に歩いています。高等学校までは皆さんは受け身の学習で色々な学術研究の成果を解きほぐし教わったと思いますが、大学では皆さん自身が主役として新しい自らの学問を作り上げていくこととなります。自分で開拓し作ることに興味をもち考え楽しむことで良い結果が生まれます。皆さんが各々満足のいく成果が出せることを祈り歓迎の言葉とします。

平成20年 4月 4日  
琉球大学長  
岩政 輝男